

事務事業名		佐野市スポーツ推進委員協議会活動支援事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	4 豊かな心を育む教育・文化づくり				担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	3 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり				担当係	市民スポーツ係	担当課長名	関口 吉丸	
	施策	1 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 生涯スポーツの推進				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	15057	一般	10	5	1	佐野市スポーツ推進委員協議会活動支援事業				
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業	
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	H18年度～ 年度		根拠法令 条例等	スポーツ基本法、佐野市スポーツ推進委員規則、佐野市補助金等交付規則			
	事業区分						任意的事業・義務的事业		任意的事業	
	事業区分						実施方法		直営	
事業区分						事業分類		支援事業		
事業区分						リーディングプロジェクト		該当		
事業区分						市長マニフェスト		3-14		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成28年度実績(平成28年度に行った主な活動内容)					
佐野市スポーツ推進委員協議会に交付金を交付し、佐野市スポーツ推進委員協議会が自主的 事業を企画運営するための活動資金や市主催大会の補助活動に対する日当金額を自主的に決めて運営できるよう支援している。		(市の活動) 交付金交付 (団体の活動) 佐野市スポーツ推進委員協議会の活動: 総会(5月)、市民ハイキング(5月)、スポーツ指導者研修会(1月)等の開催や各種市主催大会への協力活動。					
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
定例会数		回	12	12	10	11	11
自主事業数		事業	4	3	3	2	2
協力事業数		事業	4	4	4	4	4

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

スポーツ推進委員		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
		スポーツ推進委員数	人	36	36	34	34	30

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的		佐野市スポーツ推進委員協議会の円滑な運営と指導者の育成を図る。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
				自主事業に参加したスポーツ推進委員数	人	54	38	36	43	45
				協力事業に参加したスポーツ推進委員数	人	112	135	124	143	145

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

高度な指導力を身に着ける		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
		生涯スポーツ関係公認資格取得者数	人	—	116	96	110	130

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	
	事業費計(A)	千円	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			交付金	1,250	交付金	1,250	交付金	1,250
	人件費	人	1	1	1	1	1	
のべ業務時間	時間	100	100	100	100	100		
人件費計(B)	千円	389	394	389	384	384		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,639	1,644	1,639	1,634	1,634		

事務事業名	佐野市スポーツ推進委員協議会活動支援事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	市民スポーツ係
-------	----------------------	-----	---------	-----	-----------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成18年度より、佐野市スポーツ推進委員協議会が自主事業を行なううえで活動費が必要なためこの事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	交付金について見直しが行われ減額となった。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持なので対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	スポーツ推進委員協議会を支援することにより、市民のスポーツ活動を支援する指導者の育成が図られる。
	結びついている		
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	スポーツ基本法により各自治体にスポーツ推進委員を置くことになっており、また、スポーツ推進委員は市の非常勤特別職として位置づけられているため、妥当である。
有効性 評価	市が行わなければならない		
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	協議会を支援し、スポーツ推進委員がスポーツレクリエーションの指導を行い、市民にスポーツレクリエーション活動を呼びかけることにより、指導者の育成が図れており妥当である。
	妥当である		
効率性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	自主事業の見直しにより、成果向上の余地がある。
	成果向上余地がある程度ある		
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
公平性 評価	類似事務事業はない	理由・改善案	
	*類似事務事業があれば、名称を記入		
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	自主事業や市主催事業への協力等積極的に活動するために必要であり、削減の余地はない。
総合 評価	削減の余地はない		
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	会員(佐野市スポーツ推進委員)は会費を負担している。
	現在の受益者負担は適正である		
⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
スポーツ基本法により各自治体にスポーツ推進委員を置くことになっているため廃止はできない。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 自主運営できるようにし、事務局を行政ではなく団体で行う。また、ニュースポーツの啓発・普及を行う。	廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	新しいスポーツを市民に普及するため、普及するスポーツの指導技術を習得する。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					